

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 170-8401

住 所 東京都豊島区東池袋5-51-12

氏 名 株式会社マルエツフレッシュフーズ

代表取締役社長 安田 良夫 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社マルエツフレッシュフーズ		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区東扇島6-10 かわさきファズ物流センターA棟4F		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	09	食料品製造業
主たる事業 の内容	生鮮加工センターにおける食料品の仕入れ、製造、加工及び販売		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		1,840 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2020 年度 ~ 2022 年度 (報告年度 2021 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
	(2019年度)	(2020年度)	(2021年度)	(年度)	
排出量 (t-CO2)	(実) 3,431	(実) 3,428	(実) 3,194	(実)	(実) 3,372
	(調) 3,349	(調) 3,332	(調) 3,170	(調)	(調)
削減率		(実) 0.1%	(実) 6.9%	(実) %	(実) 1.7%
		(調) 0.5%	(調) 5.3%	(調) %	(調) %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (任意記載)

原単位等の活動量	生産パック数				原単位等の単位	t-CO2/百万パック
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標とした値	
	(2019年度)	(2020年度)	(2021年度)	(年度)		
排出量原単位等の値	80.10	72.62	71.29		77.70	
活動量の値	42.83	47.20	44.8		-	
排出量原単位等の削減率		9.3%	11.0%	%	3.0%	

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	コロナ禍による内食需要増により、製造パック数が大きく伸長。結果、空調機及び製造設備機器のエネルギー使用量が多くなったが、CO2排出量は電気排出係数低下の影響で微減であった。一方、生産性が大きく改善したことにより、原単位については総排出量の増加率と比較し大きく改善した。
第2年度	製造パック数の減少に伴う、空調機及び製造設備機器のエネルギー使用量の減少、また21年3月に加工場・クロスドックの天井照明のLED化が完了し、CO2排出量も削減された。原単位についても、総排出量の減少に伴い改善した。
第3年度	
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標) (任意記載)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>○外部機関の利用等 ISO22000を取得しており、第三者機関による点検、検査を実施していきます。</p> <p>○冷凍機の効率管理 フロン類の漏えい点検を通して機器管理を実施します。 例えば以下の項目の点検で異常があった場合、機器修理及び更新をすることで効率的な運用を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷媒ガス漏れの有無 ・熱交換器や配管の霜付、油にじみの有無 ・室外機異常の有無(異常振動、異常運動音、油にじみの有無) ・室外機周辺の障害物の有無 <p>○空調(事務所内)については、冷房28℃、暖房19℃の実温管理をしていきます。</p>
<p>第1年度</p>	<p>○外部機関の利用等：ISO2000を取得しており、第三者機関による点検、検査を実施した。</p> <p>○冷凍機の効率管理：フロン類の漏えい点検を通して機器管理を実施した。例えば、以下の項目の点検で異常があった場合、機器修理及び更新をすることで、効率的な運用を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷媒ガス漏れの有無 ・熱交換器や配管の霜付、油にじみの有無 ・室外機異常の有無(異常振動、異常運動音、油にじみの有無) ・室外機周辺の障害物の有無 <p>○空調(事務所内)については、冷房28℃、暖房19℃の実温管理をした。</p> <p>○2018年8月より、事務所天井照明のLED化を実施。</p> <p>○加工場・クロスドックの天井照明のLED化を実施(2021年2月着工、2021年3月完了)。</p>
<p>第2年度</p>	<p>○外部機関の利用等：ISO2000を取得しており、第三者機関による点検、検査を実施した。</p> <p>○冷凍機の効率管理：フロン類の漏えい点検を通して機器管理を実施した。例えば、以下の項目の点検で異常があった場合、機器修理及び更新をすることで、効率的な運用を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷媒ガス漏れの有無 ・熱交換器や配管の霜付、油にじみの有無 ・室外機異常の有無(異常振動、異常運動音、油にじみの有無) ・室外機周辺の障害物の有無 <p>○空調(事務所内)については、冷房28℃、暖房19℃の実温管理をした。</p> <p>○2018年8月より、事務所天井照明のLED化を実施。</p> <p>○加工場・クロスドックの天井照明のLED化を実施(2021年2月着工、2021年3月完了)。</p>
<p>第3年度</p>	
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
	現状は、再生可能エネルギー源等を利用する計画はありません。	

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○通い箱(クレート)での配送 ○食品トレイの軽薄化 ○埼玉県日高市において、従業員による植林、森林維持活動
第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ○通い箱(クレート)での配送 ○食品トレイの軽薄化 ○埼玉県日高市において、従業員による植林、森林維持活動
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○通い箱(クレート)での配送 ○食品トレイの軽薄化 ○埼玉県日高市において、従業員による植林、森林維持活動
第3年度	

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	3,431 t-CO ₂	3,428 t-CO ₂	3,194 t-CO ₂	t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	1,899 KL	1,936 KL	1,840 KL	KL
事業所の数	1	1	1	

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
M F F 川崎事業所	川崎市川崎区東扇島6-10	3,431	3,428	3,194	

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度